

2015年静岡大学サマースクール

案野 香子

1. 目 的

サマースクール学生に対する日本語・日本事情の授業を行うことにより、受講生の日本語運用力を高めるとともに、静岡大学の学生をはじめとする日本人・各国留学生との交流を図り、相互理解を深める。

2. 実施期間

2015年6月29日(月)～7月15日(水)

(このうち6月29日(月)から7月15日(水)の修了式までは静岡大学が企画・運営を行い、7月16日(木)以降の自由行動は各協定校の責任で企画・運営を行う。)

3. 対象および受入れ人数

韓国・朝鮮大学校	6名
米国・ネブラスカ大学オマハ校	1名
タイ・カセサート大学	2名

4. レベル^{1) 2)}

〈初級〉静岡大学作成日本語力判定テスト50点以上（日本語能力試験3級程度相当）

〈中級〉静岡大学作成日本語力判定テスト80点程度（日本語能力試験2級程度相当）

※日本語力判定試験は100点満点

1) 上記初級レベルに満たない日本語力、および中級レベルをはるかに超える日本語力をもつ学習者は受け入れない。特に後者の学生には、静岡大学への半年～1年の特別聴講生としての留学を勧める。

2) 静岡大学が渡日前日本語能力試験を作成、送付し、各大学において実施する。静岡大学にて採点し、テスト結果および選考結果を対象大学に送付する。

5. 費 用

2015年度徴収費用	全参加者
授業料	29,600円
宿舎費	免除
雑費	26,000円 ³⁾
交通費	実費 ⁴⁾
合計	55,600円+交通費および食費

朝鮮大学校は合意書に基づき、授業料免除とする。

- 3) 雑費はホームステイ謝金3,000円も含まれる。年度により変動する。
4) 交通費（空港から静岡まで、宿舎から大学まで）および食費は実費。
旅行者傷害保険は別途本国で加入する。

6. 宿泊先（予定）

- おしか荘（大学宿泊施設で自炊不可）
〒422-8021 静岡市駿河区小鹿3丁目4-6 TEL〈054〉287-3411
大学までバスで10分（片道180円）、徒歩で25分
- ホームステイ 2泊3日 受入家庭 静岡市近辺の一般日本人家庭

7. 日程（予定）

6/29（月）	：静岡到着、ボランティア学生との対面など
6/30（火）	：授業開始・開校式・交流会
7/1（水）	：校外学習①
7/4（土）・5（日）	：自由行動
7/8（水）	：校外学習②
7/10（金）～12（日）	：ホームステイ
7/14（火）	：筆記試験
7/15（水）	：スピーチ発表会・修了式
7/16（木）～	：自由行動

8. 授業科目およびコマ数

日本語	18コマ（1コマは90分	計1,620分）
日本事情	6コマ	
ガイダンス	3コマ（宿舎・生活／授業／ホームステイ）	
校外学習①	1日	
校外学習②	1日	

9. 単位

サマースクール日本語授業に80%以上出席し、筆記試験を受け、口頭発表をした受講者に対して、授業への参加度および筆記試験とスピーチ発表の成績により、静岡大学国際交流センターサマースクールプログラム〈日本語Ⅲ〉或いは〈日本語Ⅱ〉として2単位を認定する。なお、この単位は静岡大学卒業単位に含まれない。

10. 成績

成績評価は「秀」（90～100）、「優」（80～89）、「良」（70～79）、「可」（60～69）、「不可」（～59）とし、「秀」、「優」、「良」、「可」を合格、「不可」を不合格とする。

11. クラス

2クラス（来日前、国際交流センターから日本語能力判定試験問題を送付、その得点と来日後の聴解・会話力により2クラスに分ける。）

2015年度 サマースクール時間割

	6/29(月)	6/30(火)	7/1(水)	7/2(木)	7/3(金)	7/4(土)	7/5(日)
1・2	静岡到着	ガイダンス	校外学習 ① 掛川方面	日本語②	日本語④	自由行動	自由行動
3・4		日本語①		日本語③	日本語⑤		
5・6		受け入れ式		俳句	日本の食生活		
7・8		ガイダンス		歓迎会			

	7/6(月)	7/7(火)	7/8(水)	7/9(木)	7/10(金)	7/11(土)	7/12(日)
1・2	日本語⑥	日本語⑧	校外学習 ② 富士山方面	日本語⑩	日本語⑫	ホームステイ	ホームステイ
3・4	日本語⑦	日本語⑨		日本語⑪	日本語⑬		
5・6	柔道			ホームステイ ガイダンス	茶道		
7・8					ホームステイ		

	7/13(月)	7/14(火)	7/15(水)	7/16(木)	7/17(金)	7/18(土)	7/19(日)
1・2		日本語⑮ 最終試験		静岡出発			
3・4	日本語⑭	日本語⑯	日本語⑰ 口頭発表会				
5・6	浴衣 着付け	日本語⑱	閉校式				
7・8			お別れ会				

日本語授業内容

	クラス I	クラス II
①	会話力チェックとクラス分け	
②	はじめまして（自己紹介）	
③	ユニット2 いただきまーす	ユニット2 いただきまーす
④	ユニット4 ジェスチャーで伝えよう	ユニット4 ジェスチャーで伝えよう
⑤	ユニット5 旅行大好き	ユニット5 旅行大好き
⑥	ユニット9 何を食べようかな	ユニット9 何を食べようかな
⑦	ユニット10 日本の生活 高い？安い？	ユニット10 日本の生活 高い？安い？
⑧	ユニット11 みんなのスポーツ	ユニット11 みんなのスポーツ
⑨	ユニット14 ケータイ、持った？	ユニット14 ケータイ、持った？
⑩	ホームステイのために	ホームステイのために
⑪	ユニット20 ごみを減らそう	ユニット20 ごみを減らそう
⑫	ユニット15 結婚いろいろ	ユニット15 結婚いろいろ
⑬	ユニット19 女と男一仕事と役割	ユニット19 女と男一仕事と役割
⑭	まとめ 発表準備	まとめ 発表準備
⑮	筆記試験	
⑯	発表準備	発表準備
⑰	発表準備	
⑱	発表会（スピーチ）	

使用教材：クラス1・クラス2『日本語おしゃべりのたね』アルク

日本事情

- 7月2日（木） 俳句
- 7月3日（金） 日本の食文化
- 7月6日（月） 柔道
- 7月10日（金） 茶道
- 7月13日（月） 浴衣の着付け

校外学習①（7月1日水曜日）～掛川方面～

おしか荘→掛川城→花鳥園・昼食→駿府匠宿（体験学習 自分の好きなコーナーを訪れる）→おしか荘

校外学習②（7月8日水曜日）～富士山方面～

おしか荘→富士宮浅間大社→高砂酒造見学→白糸の滝→富士山 富士宮口新五合目→おしか荘

アンケート集計

日本語のクラス 日本語 I (初級) 4名 日本語 II (中級) 5名
 〈授業について〉

Q1 三週間、いろいろな勉強をしました。授業は全体として満足できましたか。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
日本語 I		2	2		
日本語 II		2	3		

Q2 授業（①日本語の授業、②日本事情）について下の数字を使って評価してください。
 またその理由やコメントを書いてください。

5 = 非常によかった 4 = よかった 3 = 普通 2 = あまりよくない 1 = 全くよくない

①日本語の授業

a) テキスト

	5	4	3	2	1
日本語 I		1	2	1	
日本語 II			5		

b) 先生

	5	4	3	2	1
日本語 I	1	3			
日本語 II	2	3			

c) 授業内容

	5	4	3	2	1
日本語 I		1	1	2	
日本語 II		3	2		

d) 教室

	5	4	3	2	1
日本語 I	2	2			
日本語 II	2	2	1		

e) 発表会

	5	4	3	2	1
日本語 I	1	2	1		
日本語 II	1	4			

②日本事情

a) 俳句

	5	4	3	2	1
日本語 I		3	1		
日本語 II	2	1	1	1	

b) 日本の食生活

	5	4	3	2	1
日本語 I	2		2		
日本語 II	2	3			

c) 柔道

	5	4	3	2	1
日本語 I	1	1	2		
日本語 II	1	2	2		

d) 茶道

	5	4	3	2	1
日本語 I	1	1	2		
日本語 II	1	2	2		

e) 浴衣の着付け

	5	4	3	2	1
日本語 I	1	1	2		
日本語 II	2	2	1		

〈宿舎について〉

Q1：今回、おしか荘に泊まりましたが、どうでしたか。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
日本語 I	4				
日本語 II	5				

〈ホームステイについて〉

Q1：二泊三日のホームステイはどうでしたか。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
日本語 I	1	3			
日本語 II	1	2			2

〈日本での交流について〉

Q1：皆さんが日本で生活しているとき、いろいろな人が関係していました。日本での交流はどうでしたか。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
日本語 I	1	2	1		
日本語 II	3		2		

〈今は〉

Q1：日本人の話していることがわかる

	よく	だいたい	半分ぐらい	あまり	全然
日本語Ⅰ	1	2	1	1	
日本語Ⅱ		3	2		

Q2：話したいことを、日本語で話すことができる

	全部	だいたい	半分ぐらい	あまり	全然
日本語Ⅰ		1	3		
日本語Ⅱ		2	2	1	

〈その他 全体の感想〉

Q1：この3週間の静岡大学サマースクールはどうでしたか。

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
日本語Ⅰ	3	1			
日本語Ⅱ	1	3	1		

【総 評】

今年度は、事前配布するガイドブックに宿舍の写真や近所のスーパーの値段などを載せて送付するといった工夫をした。日本人学生有志によるサマースクールボランティア（通称：サマボラ）が日常的に留学生のサポートにあたってくれたが、プログラム終了後も観光を続け、静岡に滞在する留学生に宿泊先を提供するなど、最初から最後まで全面的に支援を行ってくれたのが頼もしかった。二泊三日のホームステイは、多くの学生が親切にしてもらったようだが、やはり昨年同様、留学生の受け入れに不慣れな家庭があり、受講者が不満をもつ一面もあった。

さらに、今年度から、受け入れ対象校をカセサート大学（タイ）に広げたことによってにぎやかなプログラムとなった。ただし、韓国、タイ、アメリカの学生が国ごとに分かれてしまい、それぞれがうまく混ざり合って交流する雰囲気が薄かったのは残念な点である。

今回のサマースクールの参加学生1名が、交換留学生として静岡大学で再び勉強していることは幸いである。

全学教育科目

原沢 伊都夫

平成26年度後期は両キャンパスで1年生向けに日本語Ⅲ・Ⅳ、2年生向けに日本語Ⅵが開講された。25年度より、新しいカリキュラムが始まり、日本事情への日本人学生の履修が可能になった。27年度前期は両キャンパスで1年生向けに日本語Ⅰ・Ⅱ、2年生向けに日本語Ⅴが、浜松キャンパスで1年生向けに日本事情が開講された。日本事情は学際科目